

セグロシャチホコ

初夏と秋にポプラやヤナギの葉を食べる毛虫（幼虫）。最大長約40mm。体は茶色、背中に2本の黄色の縦縞があり、その間に白点が対になって並ぶ。頭は黒い。

森林や公園などでまれに多発する。



1. 幼虫。1961/8/21。美唄市。



2. 幼虫，体長18mm。2001/8/6。美唄市，ヤナギの1種。



3. 蛹，体長14mm。2001/8/6。美唄市，ドロノキ葉上。



4. 成虫。



5. 卵塊。1961/8/23。美唄市，ポプラ。



6. 2齡幼虫。1961/8/23。美唄市，ポプラ。

【学名】 *Clostera anastomosis*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera)， シャチホコガ科 (Notodontidae)

【分布】 北海道，本州，四国，九州；アジア，ヨーロッパ。

【生態】

年2回発生。幼虫か蛹で越冬。成虫は5～6月と8月頃に出現。雌成虫は葉裏に卵をかためて産み付ける。幼虫は小さなときは集団で葉の表面を削り取るように食べる。幼虫は成長するにつれ分散する。夏は葉の表面に薄く糸を張って繭を作り蛹になる。幼虫は晩秋に樹皮の割れ目や落葉中で薄い繭を作って越冬に入る。もしくは、10月上旬までに蛹になり越冬する。

| 発育ステージ | ～3月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11～ |
|---------------|-----|-----|--------|------|------|--------|------|-----|-----|
| 幼虫 (+越冬, ■摂食) | +++ | +++ | ■■■ | .. | | | | | |
| 蛹 | ◇◇◇ | ◇◇◇ | ◇◇◇ | ◇◇.. | | | | | |
| 成虫・卵 | | .. | ○○○ | ○○.. | | | | | |
| 幼虫 (摂食) | | | .. ■■■ | ■■.. | | | | | |
| 蛹 | | | | | ..◇◇ | ◇.. | | | |
| 成虫・卵 | | | | | .. | ○○○ | .. | | |
| 幼虫 (+越冬, ■摂食) | | | | | | .. ■■■ | ■+++ | +++ | |
| 蛹 | | | | | | | ..◇ | ◇◇◇ | ◇◇◇ |

【被害と防除】

ポプラやドロノキで多発することがあるが、食害によるや木の枯死は記録がない。多発が長期化した例もない。森林では普通、防除を必要とされない。

【文献】

1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病虫害獣図鑑. 223 pp. 北方林業会, 札幌. (生態, 被害, カラー写真).

北海道立林業試験場・緑化樹センター

セグロシャチホコ shachiho/seguro/
kaisetu.htm

「文章」原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/9/22.

seichu.jpg, tamago.jpg, yochu1.jpg, yochu2.jpg

「写真1, 4～6」上条一昭, 北海道立林業試験場, 1961.

yochu3.jpg, sanagi1.jpg

「写真2～3」原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001.